



## 飛躍の3学期に

### さあ、2年生O学期が始まった！

2026年、新しい年を迎えました。みなさんはどんな年末年始を過ごしましたか。

この3学期は短いですが、みなさんにとってとても大切な期間です。それは1年間の集大成であると同時に、来年度2年生になって後輩を迎えるための準備期間、つまり2年O学期でもあるからです。一日一日を大切にしながら前向きに自分を成長させていきましょう。

さて、そこで今日はある鳥のお話です。

みなさんはヒマラヤ山脈を知っていますか。もっとも高いエベレスト山は8848メートル。それに連なるように続く数千メートル級の山々はまるで想像を絶する巨大な壁のようです。その圧倒的な高さを誇るヒマラヤ連峰をある鳥が越えていくというのです。

登山家の間では語り継がれていましたが、長い間、そんなに高く、過酷なヒマラヤを鳥が越えるなんて、そんなことは絶対にありえないとされていました。その鳥は「アカハツル」という鶴の一種です。

ふだん平地ではそれほど高く飛ばない鳥ですが、年に一日か、二日、最も風の少ない日を選び、一番良い上昇気流に乗って、高く高く舞い上がります。しかし、何千メートルもの山々を越えるほどに高く舞い上がるためには、よほど力強い上昇気流に乗らなければなりません。そのもっともよい気流をとらえるために、何度も何度も、繰り返し繰り返し旋回を続けます。何度も失敗しても決してあきらめることはありません。風に乗るまで、目指す高さを越えるまでこれを繰り返すのです。

マイナス何十度という厳しい寒さに耐え、大きな翼を広げて編隊を組んで飛んでいく鶴の姿はきっと荘厳（そうごん）=おごそかで人を圧倒する様子）で感動的な光景でしょうね。

鶴がヒマラヤを越えるように、みなさんがこれから歩む先には、どんな新しい世界が広がっているのでしょうか。そこにはきっと今とは見違えるような成長と、素晴らしい世界が広がっているに違いありません。しかし、困難を前にあきらめてしまっては、成長することも、新しい世界を知ることも決してできません。何事にも負けずに、あきらめずに挑戦し続けること、これが成長のための大きな原動力なのです。

うまくいくか、望み通りの結果が得られるかは誰にもわかりません。しかし、最後まで努力し続けることをやめないでください。先生たちも君たち一人一人の成長を楽しみにしながら、みなさんを支援していきます。

## □2026年 学年の先生方の抱負を紹介します！

H K先生 家族との時間を大切にする。

W先生 ネットショッピングを控えめにする。

M(1B)先生 十分な睡眠をとる。

M(1C)先生 健康第一。

H A先生 規則正しい生活をする。

T先生 健康に過ごす。

### □来週の予定

月/ 日 (曜)	行事予定	備考
1/12 (月)	成人の日	
1/13 (火)		
1/14 (水)	各種委員会	
1/15 (木)	学校保健委員会	
1/16 (金)		